

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

心不全患者における左室駆出率の悪化に対する心臓リハビリテーションの効果の検討

1. 研究の対象

2014年4月1日から2022年6月30日までの間に当院の心臓リハビリテーション（心リハ）初診外来受診を予定され、診療録で心リハ開始時と心リハ終了時に心臓超音波検査を実施した心不全と診断された方

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2025年9月30日 まで

3. 研究目的・方法

目的

心リハへの参加が心不全患者の左室駆出率(LVEF)の悪化に影響したかについて解明することを目的とした研究を実施します。そのために、2014年4月1日から2022年6月30日までの間に当院の心リハ初診外来受診を予定され、診療録で心リハ開始時と心リハ終了時に心臓超音波検査を実施した心不全と診断された方を対象に研究を行います。研究者が対象者の診療情報をもとに心リハ参加や心臓超音波検査結果含めた診療情報などのデータを選び分析を行い、心リハと左室駆出率低下との関連について調べます。

方法

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの研究対象者を直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、研究対象者の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：該当なし
- ・診療情報等：年齢、性別、診断名、冠危険因子、血液検査結果、画像診断結果、心臓超音波検査含めた生理機能検査結果、運動療法参加回数

5. 情報の提供先・提供方法

自施設のための研究のため、他施設への情報の提供はありません。また、この臨床研究のデータを別の目的の研究に二次的に利用する場合があります。また、研究組織以外の第三者に提供する可能性があります。いずれの場合にも、新たに研究計画書を作成し、改めて臨床研究審査委員会の承認を受けて実施します。その場合も研究対象者個人を識別できるような情報が漏れることはありません。

6. 研究組織

研究代表者

東海大学医学部内科学系循環器内科学 教授 吉町 文暢

共同研究機関および研究責任者名

東海大学医学部附属八王子病院

東海大学医学部内科学系循環器内科学 教授 吉町 文暢

東海大学医学部附属病院

東海大学医学部内科学系循環器内科学 教授 伊苺 裕二

7. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

8. お問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5033）

研究責任者 東海大学医学部内科学系循環器内科学 吉町 文暢

問い合わせ担当者 東海大学医学部附属八王子病院診療部循環器内科 橋本 佳穂